

2015年3月15日発行

K



神奈川県理学療法士会
 (公社)神奈川県理学療法士会ニュース
 The Kanagawa
 Physical Therapy Association
 News

P

3 2015
 March
 No.262

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 谷 浩明

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[27.2.1現在]

4,292名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会長行動報告 P4▶会員ライフサポート部活動報告50報 P6▶学会情報 P7▶研修会・講習会(他団体)
 P8▶理事会報告 P11▶information P12▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



日々の臨床での気付き

ふなき整形外科クリニック リハビリテーション科
 長見 豊

整形外科の外来リハビリでは、主に痛みの改善を求める方が多く来院されます。そのため、患者様の求められていることに対応できなければ(この場合、疼痛の改善)、次回以降に来院して頂けないという現実(結果)が待っています。特にリハビリを開始して数回で来院が途絶えてしまう場合、何が足りなかったのかと考えさせられます。要因は患者様側のスケジュールの都合やマッサージ的な治療を求めているニーズに合わなかった為かもしれません。一方、セラピスト側の要因としてはクライアントである患者様の要望に応えられなかった結果か、または治療の方針や内容に対して理解や満足感を得られなかった為かもしれません。

しかしながら、改善という結果を出すことに関しては、疼痛が発症してからの経過が長く、即時的に大幅な改善が困難な場合や、疼痛の原因を改善する為に時間を要する場合がある事も現実的に直面する問題です。問題解決の為に、治療技術を向上させることは勿論ですが、現状を理解して頂く事も必要です。そのためには、「なぜ痛いのか」、「どうしたら良くなるのか」、「何をしなくては(改善しなくては)ならないのか」という原因や目的に対して共通理解を得ることが重要であると考えています。そもそも患者様にとって、リハビリテーションとは何をするのかよくわからないのではないかと思います。現在抱えている痛みや機能的な問題の解決を求めて来院されるのであって、初めからリハビリテーションを目的に来院している方ばかりではありません。医師に勧められ、初めてリハビリテーションが必要と認識する方がほとんどです。そのような方々のオリエンテーションとして、問診を通して共通理解を得る作業が不可欠と考え、実践しています。

問診ではセラピストが知りたい情報だけを聴取するのではなく、患者様本人に何が原因で症状が出現しているか認識して頂く必要があります。大抵の場合、なぜ症状が出現したか自覚がなく来院される方が多く、使い過ぎや誤った

使い方など日常に問題が潜んでいることに気付いていません。そのため、原因となる背景を問診から共に探り、患者様本人の気付きを促す事を重視しています。

次に身体の機能的問題については、機能評価に基づき、どこに問題があるかを共に認識する事が必要です。単に言葉だけの説明では、なかなか実感するまでには至りません。よって、如何にして機能的な問題を体感して頂く事が出来るかが重要と考えます。例えば、大腿四頭筋の筋力低下により立ち上がり動作で膝が痛いという主訴の方に対して、大腿四頭筋のMMTの結果を用いて説明するのか、片脚での立ち上がりを左右で行い左右差を体感して頂くかでも受け手側の印象は異なります。

ここまでで共通理解が得られれば、次に「どうしたらいいのか」という事が患者様自身の中に芽生えてくるはずで、この場合も、何をしたら症状が緩和するかを体感して頂く事が出来れば、自己努力を促すことが可能となり、日常生活で注意すべき事やセルフエクササイズに自主的に取り組んで頂くことができます。あとは到達可能な目標を定め、定期的に到達度を共に確認することで改善状況を共有することです(指導したままでは、やがて風化し、モチベーションも低下してしまいます)。

当たり前の事と思われるかもしれませんが、問診を通して自己の問題として原因の認識・理解を促し、目的を共有する事で結果が大きく異なることを実感します。また共通理解が得られていない場合、セラピストの治療に対する意気込みが先行し、患者様を取り残されてしまっている場面を見かけます。どちらの場合も、セラピストと患者様の会話や様子を見ていて感じます。このように気付きを促し、問題や目的を共有することは、治療技術と同様に重要な技術であり、同時に信頼関係の構築を意味していると考えます。すべてが当てはまる訳ではありませんが、患者様の来院が途切れることは何らかの結果であり、気付きの機会であると思います。

活動報告

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 平塚・湘南西部地区災害対策キャラバンが開催されました。

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成27年2月1日（日）国家公務員共済組合連合会平塚共済病院におきまして

「災害対策委員会 平塚・湘南西部地区災害対策キャラバン」が開催されました。

今年度より災害対策研修会と並行して、神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当（エリアコーディネーター）を配置しました。

有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、前回の鎌倉・大船地区に引き続き平塚・湘南西部地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。

講師には平塚市消防本部より松尾貞徳氏（消防救急課 消防司令）、平塚市役所より保健師の古田美穂氏（健康・こども部健康課）に加え、日本理学療法士協会 東日本大震災一次派遣隊として気仙沼で支援活動をした安藤岳彦氏（めぐみの里）を迎え、東日本大震災時に伴う宮城県宮城野区蒲生地区で行った緊急消防援助隊活動や平塚市における消防体制と災害時の受援体制について（松尾氏）、保健師の具体的な保健活動から災害時の活動（古田氏）とリハビリテーションとの連携について（安藤氏）お話いただきました。

松尾氏からは「まずは自分の、そして家族の防災につ

いても日ごろからしっかり話し合っておきましょう」と防災に関するポイントについてもお話いただきました。古田氏からは、「災害が発生していない状況においても、日頃の地域での保健活動をとおして地域住民の生活を把握し地域の関係団体等との連携を図っておくことが必要である」、安藤氏からは「日ごろの繋がりや取り組みが災害時には強みとして発揮される」という事を強く訴えられていました。

今回は、参加者全員の自己紹介を行い、普段の業務内容などを確認する事が出来ました。まさにお互いの「顔を合わせる」場ともなったように思います。ケアマネージャや介護職、保健師といった他職種の方や静岡県や千葉県理学療法士会からの参加、また地域防災を担当する行政の方からの参加もあり、多くの方々にご参加頂きました。本当にありがとうございました。

エリアコーディネーターとして事前の打ち合わせから積極的な広報をしていただきました山口幸三郎先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました平塚共済病院の武生新吾先生と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

次年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。





転倒予防セミナーを終えて

公益事業推進部 相馬 光一

1月10日（土）にかながわ県民センター 2Fホールにて「理学療法士による転倒予防セミナー ～転ばない体づくり～」と題してセミナーを開催しました。（講師：相馬光一／本会公益事業推進部長・神奈川リハビリテーション病院・後援：神奈川県、神奈川県医師会、横浜市、横浜市医師会、横浜市社会福祉協議会）受付を終えた方から、体力測定（握力、片脚立位保持時間、FRT、TUG、2ステップ、立ち上がりリテスト、CS-30）を実施し、セミナー前半は座学編として転倒の危険性、要因、予防方法、評価方法を解説し、後半は実技編として高齢者の歩行の特徴から姿勢の改善や柔軟性・筋力・バランス・持久力向上に向け

た体操の指導を行いました。参加者は、50代から80代の13名でした。終了後のアンケートで、「体力測定で自分を知ることができた。」「家でできる体操を教えてください。」とのご感想を頂き、好評であったと自負しておりますが、もっと多くの方にご参加いただけたら、なおよかったと残念でなりません。

公益事業推進部では一般の方向けのセミナーの企画運営を行っております。お手伝いいただける会員の方大歓迎です。是非、お問い合わせ下さい。

<koueki@pt-kanagawa.or.jp 担当 相馬>



月	日	内容	場所
12月	2日（火）	神奈川県理学療法士連盟設立準備会	事務所
	3日（水）	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
	3日（水）	市民公開講座	新都市ホール
	7日（日）	PT 協会理事懇談会	田町カンファレンスセンター
	9日（火）	常任理事会	事務所
	11日（木）	地域包括ケアシステム推進対策委員会	事務所
	14日（日）	日本支援工理学療法学会学術大会	首都大学東京
	15日（月）	日本身体障害者補助犬学会運営会議	介助犬協会本部
	19日（金）	PTOT 長期講習会打ち合わせ	神谷町
	20日（土）	事業運営会議	事務所
1月	6日（火）	常任理事会	事務所
	7日（水）	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
	13日（火）	日本身体障害者補助犬学会運営会議	介助犬協会本部
	16日（金）	県栄養士会賀詞交歓会	崎陽軒本店
	18日（日）	地域包括ケアシステム推進対策委員会	事務所
	20日（日）	事業運営会議	事務所
	25日（火）	介護予防推進リーダー研修会	ワールドポーターズ
	27日（火）	県訪問リハビリテーション協議会相談役会	事務所
	28日（水）	医療を守る会総決起集会	県医療会館

地域密着型のお仕事です。一緒に働いてみませんか？

介護デザイナー
児童デザイナー

Well

デザイナーセンター Well(ウェル)

ほく、かながわん！

PT・OT・ST・看護師 募集中！

ARS
訪問看護
リハビリステーション

介護デザイナー
障がい児・者デザイナー
ふらっと
介護デザイナーセンターふらっと

リハビリサポートスタイ
介護デザイナー

足柄リハビリテーションセンター
ふらっと 足柄部

足柄リハビリテーションセンターふらっと 足柄部

(有)足柄リハビリテーションサービス
TEL: 0465-39-3730
URL: <http://ashigara-reha.jp/>

活動報告

会員ライフサポート部所感 ~平成26年度研修会&交流会に参加して~

会員ライフサポート部 石田 輝樹さん

会員ライフサポート部 活動報告 第50報 職場環境を考える

会員ライフサポート部の部員に加わりました!

昨年の11月から会員ライフサポート部に加入させていただいた石田輝樹です。

普段の勤務は㈱リカバリータイムズ代表取締役としてリハビリ特化型デイサービスに従事しています。わたしが会員ライフサポート部に関わりたと思ったきっかけ。

それは、当施設で働く事になったママさん介護士が面接の際に話してくれた事、

「少しでも社会との関わりを持ちたい」

この一言がきっかけでした。

「そうか。子供を産んでから、職場を一度離れて、復職するにはたくさんのハードルがあるんだな。」と感じると同時に、せっかく人のために働きたいと考えて、資格をとったのに、その資格を生かした仕事ができている事はない事ととてももったいないと感じていました。

「女性が働きやすい環境をつくっていききたい。」

少しでも僕が何かできる事はないか?という思いで関わりはじめました。よろしくをお願いします。

平成26年度会員ライフサポート部主催 研修会&交流会に参加して

平成26年12月21日に今年度の復職支援事業の今さら聞けないシリーズ研修と就業継続に関する問題について自分の悩みから話をしながらの交流会が開催されました。

参加者の年代は20-40代で、年代も性別も万遍なく24名の参加がありました。託児室は2歳~6歳のお子様6名が利用されました。

今さら聞けないシリーズ5

「生活期に関わるPTのためのリスク管理~事例を通して~」
講師：大森豊先生

(訪問看護リハビリテーションネットワーク)

大森先生の話聞いて感じた事は、生活期では人とのように関わっていくか?が重要であるとの事でした。急性期では、「疾患」を中心にみていきます。もちろん、この時期はそこをしっかりとみていく事がとても大切です。

しかし、生活期になってからは、疾患を有する「人」をみていく事が中心になります。「人」に対して、生活にどのように適応しているのか、そして利用者さんに関わる僕らは、理学療法士としてだけでなく、「人」として人間力を問われるんだと改めて感じました。

交 流 会

会員同士の交流会では、年代ごとに4~5人のグループに分かれ、それぞれの職場で困っている事を話していました。

私が参加した40代女性のグループでは、次のような声が聞かれました。

- ・子供の体調不良で休む事がある時、スタッフにあまり理解してもらえない。
- ・病児保育という環境があれば、働きやすいのに。
- ・今は子供が病気になると、休みをとる以外に解決策がない。
- ・若いスタッフもいつかは我が身と思って理解がほしい。
- ・働く母が多い職場だと助け合いが多く働きやすい。等、職場環境の事であったり、
- ・将来的に復帰した時のためにアンテナを張っていたい。
- ・現在の訪問リハと子育ての両立の環境を知りたい。等、今後どうやって復職していくのかであったり、
- ・PTの職種はどこにあるのか?
- ・小児リハビリも不足している。
- ・1万人もいる中、自分のポジション、専門性がないと生き残れないのか?等、職種に関する事等、多岐にわたりました。

一人一人の価値観が違う。

だから選ぶ選択肢もまちまち。

だから希望しているニーズもまちまち。

だから託児所があればいいわけではない。

じゃあどうすればいいのか?

一つだけ、

みんなが無意識に考えている共通の思いがありました。

それは「私は復職できるのかな」という漠然とした不安です。

結婚や出産など、さまざまなライフワークイベントが理由で、退職あるいは休職した後にお母さんたちが復職したというモデルがとても少ないのではないのでしょうか。だから、復職のイメージを持ちにくいのではないのでしょうか。

今回の研修に参加して感じた事は、実際に復職されている人の「モデルケース」を見せていくこと。「こうやって復職する人がいるんだ。」「私にもこれならできるかも。」を感じてもらえる事が大切なのではないかと思います。

会員ライフサポート部は実際に復職した人と知り合える、話し合える場所として、そして、実際に働きたいと思う気持ち分、実際に働ける環境や研修先を整えていく事が重要だと感じています。





平成27年度 会員ライフサポート部主催 託児室付き研修会&交流会 (第一報)

来年度も研修会&交流会を開催致します。
 今度は、「今こそ聞こう!!」というテーマに一新して、「ウィメンズヘルス」と「ワークライフバランス」について第一線でご活躍中の講師の先生をお招きし、2コマにバージョンアップしました。
 交流会は、ランチを食べながらの「ランチ交流会」を予定しています。

当事者である女性の皆さんにも、一緒に働く皆さんにも、男女問わず是非聞いて頂きたい内容です。
 託児室完備ですので、小さなお子様連れでも安心して参加できます。
 ※内容、申込み方法等の詳細は、決まり次第ホームページに掲載します。

■日 時：平成27年7月4日(土) 10:30～15:00

■会 場：ウィリング横浜

■対象者：(公社)神奈川県理学療法士会会員(休会会員も含む)

■内 容 (案) 10:30～12:00 第一部 「(仮)今こそ聞こう!! ウィメンズヘルス」
 講師：山崎 愛美 先生(産後リハビリテーション研究会代表)
 12:15～13:15 ランチ交流会
 13:30～15:00 第二部 「(仮)今こそ聞こう!! ワークライフバランス」
 講師：荒木 智子 先生(神戸国際大学リハビリテーション学部理学療法学科助教授、ワークライフバランスコンサルタント)

■お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 会員ライフサポート部 寺尾 詩子 E-mail: lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

理学療法士 在宅酸素療法の包括的サポートツール

さんに是非使って頂きたい!



運動療法・呼吸療法等+リモコン機能+災害対応

電話 045-852-8170



パレット

=



+



株式会社 星医療器

SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社 横浜営業所
 横浜市都筑勝田南 2-18-5
 tel: 045-590-5485
 www.sakaimed.co.jp



Daiwa House.
 大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL®福祉用は、
 全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中!

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
 ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室



学会情報



— 第32回神奈川県理学療法士学会新聞 vol.5—

社会貢献

～県民に選ばれる理学療法士になるには～

第32回 学会長 大平功路 (横浜新都市脳神経外科病院)



県学会新聞

3月22日 学会へ行こう！

そして、次回の学会へ！

■次回第33回学会長の鶴巻温泉病院 松本先生より、応援のメッセージを頂きました！

いよいよ第32回学会の開催月となりました！

大平大会長をはじめ、準備委員の皆さまは、本番に向けた最終調整段階かと思えます。あまりの忙しさに本稿をお読み頂く頃は学会終了後かも知れませぬ。通常業務の傍ら、学会準備にご尽力いただき誠にありがとうございます。県士会員の一人として厚く御礼申し上げます。

第32回学会の内容を今一度確認しますと、演題発表以外の企画が多数組まれております。大会長の「参加者の皆さまに何か臨床のヒントを得て頂きたい！」という思いがヒシヒシと伝わる構成です。学会の主役は会員の皆さま一人一人です。私も当日スタッフの一人として、微力ながらお手伝いさせていただきます。ぜひ本学会へ参加いただき、みんなで盛り上げて行きましょう！

さて少し気が早いのですが、第33回学会についてお話しいたします。第33回学会は湘南西部地区の担当で平成28年3月13日(日)にパシフィコ横浜で開催いたします。

中心的役割を担う準備委員のメンバーが固まり、キックオフミーティングを昨年12月に開催いたしました。現在は、学会テーマの決定を最優先課題としながら、どんな学会にしていきたいか準備委員の思いをまとめていく所です。先人の素晴らしい取り組みに負けない様、鋭意努力していきたいと思っております。

最後になりますが、第32回学会のご参加を心よりお待ちしております！

■第32回プログラム内容

★教育講演
肩の理学療法は、クライアントに寄り添うことから始まる
山口光國 先生

★県民公開講座
ココロとカラダ、そして理学療法
春木豊 先生

★ハンズオンセミナー
股関節疾患に対する理学療法介入の再考
湯田健二 先生

急性期から地域まで役立つ呼吸理学療法
宮川哲夫 先生

★ランチョンセミナー
建築士からみた住宅改修
渡邊靖 先生

★ランチディスプレイ
社会貢献 今自分のできること
池畑健太 先生
芝原庸 先生

子育て支援 ライフイベントを経て私らしく理学療法士でありつづけるために
河合麻美 先生

★地域症例リレー

★先輩による分野別症例報告
運動器
宮澤俊介 先生

神経
義澤前子 先生

内部障害
河辺信秀 先生

地域・生活支援
五十嵐由香里 先生

小児
児玉正吾 先生

★case movie discussion

★口述発表

★ポスター発表
など

会期と会場

平成27年3月22日(日)
パシフィコ横浜

□学会当日は、協会会員証をお持ちください。

□学会資料については、下記ホームページ内に掲載されております。電子抄録もご利用ください。
第32回学会ホームページアドレス
<http://congress-kpta.jimdo.com/>



QRコード

●他団体

研修会・講習会



平成27年度 神奈川リハビリテーション病院「臨床研修」の募集のご案内

当院では理学療法士を対象とする「Ⅰ：卒後臨床研修」、「Ⅱ：専門臨床研修」を計画しておりますので、ご案内させていただきます。

Ⅰ：卒後臨床研修

目的：当院の特徴である整形外科疾患・脊髄損傷・外傷性脳損傷等の評価と治療を通して、基礎的な理学療法技術の習得を目指す。

対象：臨床経験4年未満の県内理学療法士

研修内容：治療研修・基礎的な理学療法技術研修(講義と実技)・症例検討

期日：平成27年7月27日～7月31日(月～金曜日、1週間)

費用：20,000円

募集人数：4名

講師：当院理学療法士 他

Ⅱ：専門臨床研修

目的：疾患別理学療法技術(①脊髄損傷②変形性股関節症③外傷性脳損傷)の研修と交流

対象：臨床経験4年以上の理学療法士

研修内容：治療研修・専門的な理学療法技術研修(講義と実技)・症例検討

期日：平成27年8月3日～8月7日(月～金曜日、1週間)

費用：20,000円

募集人数：4名

講師：当院理学療法士 他

募集要項は当院ホームページにて掲載します。詳細につきましては下記までE-mailにてお問い合わせください。

締め切り：ⅠとⅡともに平成27年7月3日(金)

問い合わせ先：神奈川リハビリテーション病院 理学療法科 浅井直樹 田代 宙

E-mail: kanapt@kanagawa-rehab.or.jp

ホームページ：<http://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/>

主催：神奈川リハビリテーション病院

後援：神奈川県理学療法士会

リハビリテーション災害支援 研修・意見交換会

テーマ：～災害におけるリハビリテーション職種の役割を検討し、明確にする～

内容：今後起こりうる大規模災害に備え、リハビリテーション職種が災害に備えてどのように活動していくべきか、現状を把握し、海外での具体的な事例を通して学んでいくことを目的に「リハビリテーション災害支援システムの構築を考える会(MST)」が開催する研修会・意見交換会です。

講師：坂本 真由美(名古屋大学 減災連携センター 准教授)
小早川 義貴(国立病院機構 災害医療センター 医師)
Mr. WEERTS (Handicap International) <同時通訳有>

日時：平成27年3月22日(日)

場所：日本理学療法士協会 田町カンファレンスルーム

参加費：無料

定員：100名

問い合わせ先：三浦 和(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 講師)

電話：0465-21-6705(直通)

メール：nodoka.miura@iuhw.ac.jp

Gift

日本ウイール・チェア
オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)



車いすなんでも相談



日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

理事会報告

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2014年度第3回理事会報告

I. 開催日時：2014年11月18日(火) 19:00～20:25

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数：15名

定足数：8名

出席理事数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、惣田洋、久保雅昭、大槻かおる、露木昭彰、久保木あずみ、小山理恵子、内田賢一、岡本賢太郎、佐藤史子、坪内敬典、相川浩一

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：君嶋武司、井上 保

V. 出席第32回神奈川県理学療法士学会会長氏名

出席第32回神奈川県理学療法士学会会長：大平功路

VI. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、小林和美

VII. 議長の名

秋田 裕

VIII. 議題

第1号議題 会員の資格の取得の承認について(入会の承認)

第2号議題 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

IX. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

(2) 第1号議案 会員の資格の取得の承認について(入会・転入者の承認)

議長の求めに応じ、佐藤事務局長より会員の資格取得について、前回理事会からの入会予定者16名、転入者15名の申請があったとの説明がされ、平成26年11月18日現在の会員数が4,301名との報告があった。

審議の結果、転入者の内1名について今年度会費が未納のため否認となり、未納者の対応については、事務局が行う事となった。

入会予定者16名と転入者14名について審議の結果、出席理事全員一致にて承認された。

(3) 第2号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

1) 事務局 関連団体依頼事項の件

① 佐藤事務局長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があった。

厚木市介護認定審査会委員会の推薦について

審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。

② 佐藤事務局長より、以下の後援・共催、協賛依頼があったとの説明があった。

1 湘南リハケア2014への後援

2 日本介護支援専門員協会南関東ブロック研修会「第13回神奈川県介護支援専門員研究大会」への

後援

3 平成26年度神奈川県トレーナー研修会(後期)後援

4 第24回神奈川在宅呼吸管理研究会後援

5 神奈川県総合リハビリテーションセンター主催「脳血管障害のリハビリテーション(実務編)脳血管障害の下肢装具について」後援

審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。

③ 佐藤事務局長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があり、人選中であることが報告された。

1 地域医療学習会講師依頼

2 川崎市介護認定審査会委員の推薦依頼

3 えびなロコモ体操(仮称)の製作委員会推薦依頼

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

④ 佐藤事務局長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。

1 アーリア20管理組合(11月15日)、神奈川県サッカー協会トレーナー担当部会(10月2日)

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

⑤ 隆島副会長より、協会の表彰規定が変更されたとの説明があり、平成26年度協会賞推薦候補者について下記の提案があった。提出期限12月25日

該当者は、萩原利昌氏、大槻かおる氏

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

⑥ 佐藤事務局長より、平成27年度第36回定時総会日程についての説明があり、6月14日(日)に定時総会を開催する事が、審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

⑦ 佐藤事務局長より、第50回日本理学療法学会「都道府県理学療法士等の活動報告」登録についての説明があり、下記の提案があった。

1 会員ライフサポート部活動報告「10年間の活動を振り返って」

2 会員ライフサポート部 一般演題登録として「日本理学療法士協会会員を対象とした託児室設置に関するアンケート結果」

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認した。

⑧ 坪内理事より、災害対策委員会のFacebook運用についての説明があり、今後の使用について提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

⑨ 坪内理事より、第50回日本理学療法学会「都道府県理学療法士等の活動報告」登録についての説明があり、下記の提案があった。

災害対策委員会「災害対策委員会の役割と活動報告」

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

⑩ 秋田会長より、第50回日本理学療法学会「都



道府県理学療法士等の活動報告」登録についての説明があり、下記の提案があった。

「医療専門職連合会活動報告」

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

2) 社会局

①惣田理事より第50回日本理学療法学会「道府県理学療法士等の活動報告」登録についての説明があり、下記の提案があった。

公益事業推進部 「神奈川県における理学療法週間事業について」

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

3) 職能局

①大槻理事より、発達障害支援部部会について説明があり、下記の提案があった。

横浜市南部地域療育センターの施設借用の申請書審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

②大槻理事より、中途障害支援部主催研修会講師依頼について説明があり、下記の提案があった。

「栄養とリハビリテーション」への講師派遣について審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

4) 学術局

①岡本理事より、学会の広報・宣伝用目的にFacebookを使用する事が説明され、下記の提案があった。

「学会規定」に第7条「ソーシャルネットワークの取り扱いについて」を追記した。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

運用規定についても必要な為、災害対策委員会の運用規定を参考に作成する事が確認された。

X. 報告事項

(1) 会長職務執行状況報告

秋田会長より、前回理事会から昨日までの会長職務の執行状況が報告された。

(2) 事務局業務執行状況報告

1) 佐藤事務局長より、前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。

①発行文書・收受文書の管理状況について

②平成27年度事業計画書提出期限 11月30日(日) 目標30%減

③年賀状の内容と送り先の確認について

2) 坪内理事より、総務部の執行状況が報告された。

平成27年度新人オリエンテーション 平成27年4月19日(日) 横浜市民文化会館内ホール

3) 坪内理事より、ニュース編集部が執行状況が報告された。ニュース9月号(No.259)・11月号(No.260)について

4) 相川理事より、ウェブサイト管理部の執行状況が報告された。

ホームページ閲覧数

5) 佐藤理事より、会員ライフサポート部の執行状況が報告された。

第50回日本理学療法学会でのシンポジウムの企画ホームページへの情報掲載について

6) 炭理事より、組織強化委員会の執行状況が報告された。組織強化委員会講習会(終了報告)

7) 坪内理事より、災害対策委員会の執行状況が報告された。災害対策キャラバン(終了報告)

次回西湘地区 2月1日開催予定

8) その他

①相川理事より、海老名市推薦依頼の経緯について、報告された。

②佐藤事務局長より、研修会等の開催に関する件で、「修了証の発行について」と「PHSのメールでの当日キャンセルの受付について」報告された。修了証をHPより、ダウンロードする方法に関しては、検討事項とする事となった。

③林副会長より、公益法人事業内容変更申請について説明がされ、11月中に変更申請を行うと報告された。

④佐藤事務局長より、予算対比正味財産増減計算書について、説明があり事業執行状況確認の参考とする事を確認した。

⑤京浜警備のカードキーと鍵の確認について

(3) 学術局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。

1) 岡本理事より、学術大会部の執行状況が報告された。

①第32回神奈川県理学療法士学会大平学会長より、事業意見交換会について報告された

②公開講座講師予定の先生が、現在入院中であり、今後については未定であるが、状況によっては代替りの先生にお願いする事になると報告された。

(4) 社会局業務執行状況報告

惣田局長より、前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。

1) 県医療専門職連合会について、報告された。

2) 秋田会長より、市民公開セミナーについて、報告された。

3) 久保理事より、スポーツ支援部の執行状況が報告された。

①城下町おだわらツアーマーチへのメディカルサポート開催状況

(5) 職能局業務執行状況報告

大槻局長より、前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。

1) 久保木理事より、介護保険部の執行状況が報告された。

2) 大槻理事より、発達障害支援部の執行状況が報告された。

①小児理学療法ガイドブック改訂について

②新入部員の報告

③福祉施設職員向け講習会開催予定(2月21日)

3) 大槻理事より、中途障害支援部の執行状況が報告された。

①障害者総合支援法に従事する理学療法士の知識講習会開催予定(1月17日)

②障害者総合支援法に従事する理学療法士の技術講

理事会報告



習会開催予定(3月)

4)久保木理事より、環境支援部の執行状況が報告された。

①平成26年度PT・OTスキルアップ研修会上級編(11月16日・12月6日)1回目開催

神奈川県作業療法士会の申込者が、激減しているため今後の方向性を神奈川県作業療法士会と相談中

(6)地域包括ケアシステム推進対策委員会業務執行状況報告

1)久保木理事より、前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。

①地域包括推進リーダー導入研修(終了報告)

②地域包括ケアシステム講習会開催予定(2月1日)

③神奈川県介護予防従事者研修会の運営について

1 講習会日程

2 当日プログラム/講師

3 研修会担当事務員1名採用 11月11日より勤務

(7)第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会開催準備委員会業務執行状況報告

1)林学会長より、第35回関東甲信越ブロック開催準備委員会の執行状況が報告された。

①局長の任命、組織運営について

②会場スペース規模について

③テーマについて

④予算概要の確認と県士会からの補助金について

⑤第33回関東甲信越ブロック学会(千葉県)の視察について

⑥その他検討事項について

⑦今後の会議予定

(8)内田理事より、健康寿命戦略会議への参加報告がされた





青いダック

生きるためのがん保険 Days

ちゃんと考える人に。新登場。

ちゃんと応える医療保険 NEVER



マラ・ワスワン アフラックダック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社

Aflac

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

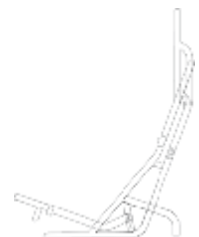
アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**

平成25年度(インシュアランス生命保険統計)


あなたのニーズを

‘かたち’ にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

 (有)木村義肢工作研究所
〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました
☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

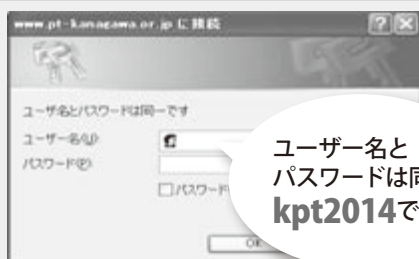
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

平成27年度新人オリエンテーション開催のお知らせ

日 時 平成27年4月19日（日）午後1：00～午後5：00
会 場 横浜市民文化会館閣内ホール（大ホール）
横浜市中区住吉町4-42-1
（最寄駅：JR関内駅又はみなとみらい線馬車道駅）
内 容 詳細につきましては、4月上旬に県内全施設の所属長様宛に案内状を発送します。

お 願 い 新規採用予定の方が居ましたら、事前に開催についての周知をお願い致します。

<問い合わせ先>

神奈川県理学療法士会事務局
TEL045-326-3225 / FAX045-326-3226
E-Mail office@pt-kanagawa.or.jp

編集後記

卒業のシーズンです。昔からセレモニーには真面目に出席してきたものの、「感極まって」ということがなかった私は、周囲の涙にくれる友人や教師たちを見ながら、「自分はヒトとして何か足りないのではないか」という思いに駆られていました。昔、同僚だったFさんは豪放磊落、ガキ大将がそのまま教師になったような人でしたが、感激屋で3月になるといつも学生たちと一緒に泣くというのがお決まりでした。そんな彼をどこかでうらやましく思いながら年齢を重ね、少しだけ涙腺がゆるくなってきたこの頃、ふと、この距離感について考えるところがありました。セラピストは患者に感情移入してはいけない、それがプロとしての構えだと教わります。しかし、そこに向け成長しようとする人間と感情を共有したり、ぶつかったりするのが教師だとすると、教育、わけでも徳育の本質は究極のアマチュアリズムだと言えます。プロたる読者の皆さんはどう思われますか？どちらも徹底できない私は、それゆえにずっと見送る側にいて卒業できないのかもしれません。 (谷)

次号の原稿締め切りは**4月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 (ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願い致します。

— 求人広告掲載についてのお知らせ —

これまで本ニュースにおいて掲載しておりました求人広告ですが、2014年3月号をもって終了とさせていただきます。

今後は、ホームページのみの掲載となります。

ホームページでの求人掲載の申込方法については、以下のURLよりご確認ください。

<http://pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/recruit/>

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

部長：谷 浩明 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

部員：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

田島 敬之 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階 (横浜駅徒歩2分)

■お問い合わせ 0120-12-6186 (営業時間 10:00~20:00)

 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1

TEL: 045-440-3911 FAX: 045-440-3912

SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL: 046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>